

令和3年度 上半期活動報告

中津川地区まちづくりセンター

当まちづくりセンターでは、地域づくりや地区の活性化を担う、中津川むらづくり協議会の事務局としての業務も行ってありますが、その取り組みを中心にご紹介いたします。

1. 水仙手入れ作業

4月18日（日）、地区公民館より上流の県道沿い、及び屏風岩トンネル先高峰地区の県道沿いの水仙ロードの手入れ作業として、根元への施肥と株分けによる植栽を実施しました。参加者は地区内の子どもから高齢者まで86人が参加しました。



2. 中津川むらづくり協議会

5月13日（木）、地区公民館において、町企画課長を来賓に招き、令和3年度中津川むらづくり協議会定例総会定例総会を開催しました。令和2年度事業報告・決算報告、令和3年度事業計画・予算について協議し承認されました。（34名出席）

3. 中津川むらづくり協議会特別委員会

中津川むらづくり協議会では、将来の地区農林業の方向を定めるべく、2つの特別委員会を設置し、今年度中に指針を出すべく、月1回程度の会議を開き協議を重ねています。

- ・ 農業検討特別委員会、安部数幸委員長以下9名（6/29、7/21、8/23、9/15）
- ・ 林業検討特別委員会、高橋亮委員長以下11名（7/2、7/20、8/26、9/16、10/21）

4. SNOW えっぐフェスティバル 2021

① 7/31 SNOW えっぐフェスティバル（第一部）を開催（約650人の参加者）

昨年は、記念すべき30回目が中止となりましたが、今年はコロナ感染対策を万全にした上で、2部構成にする等の内容も見直しながら開催しました。

- ・ 花火大会を別日程とし、ステージイベントは中止
- ・ 雪上宝探し、雪玉ストラックアウト、雪のすべり台などの雪遊びを中心として実施
- ・ 売店は「NPO法人みらいいで」の協力をいただき、地元企業含め20店舗が出店。会場内での飲食を禁止
- ・ 入場者のリストバンド着用、受付での検温・消毒・記名等を行い、密とならないよう制限
- ・ 事故やけが・トラブルもなく、新規の来場者も多く迎えながら、好評の内に終了



② 9/18 SNOW えっぐフェスティバル第2部花火大会を開催（入場者約300人）

- ・ 打ち上げ資金確保のためクラウドファンディングに挑戦したが、目標額に達せず不成立。その後、これまで協賛いただいた企業や商店、個人に再度依頼した結果、目標額の資金に到達
- ・ 当日は朝から雨となったが、打ち上げ前には天候は回復し、実施出来た。また、フェイスブック上でライブ配信も実施
- ・ 雨天に加えて気温も上がらず、予想より入場者数が少なかった。花火の打ち上げ数は少ないものの、迫力は変わらずで来場者には好評



5. 野生動物被害対策の実施

- ・ 例年の対策で主にサル除けとして、畑作用の電気柵設備の貸し出し業務を行いました（地区内の17世帯が利用、他に中津川保全協議会で各世帯へ貸出し実施）。
- ・ イノシシによる水田への被害対策として、国と町の助成による広域電気柵設置事業に取り組みました（川内戸と上屋地地区の水田に3段張りで設置）。その結果、設置後の被害を防止する事が出来ました。
- ・ 中津川保全協議会で購入したイノシシ捕獲用の箱罠を、地区内の上屋地と遅谷の2カ所に設置し捕獲を試みているが、今のところ捕獲できておりません。他にも昨年からの引き続きで、括り罠も数カ所に設置し捕獲を試みています。また、巡視・追払い活動については、6月中旬から行っていますが、サル等による畑作被害が減った事から、活動時間は大幅に減らしています。



6. 貢献型観光創造部会（未来を考える会）の活動

中津川むらづくり協議会の新たな部会として、令和2年7月にアダム・フルフォード氏が主に実施する貢献型観光実効モデルづくりをサポートするために、「貢献型観光創造部会（未来を考える会）」を設置しました。伊藤勝昭部長以下5名で構成し、活動しています。

- ・ 仮村民「丸山美奈」さんの受け入れとサポートを実施（7/20～8/17 滞在）
- ・ 8/16「丸山美奈」さんによる『「中津川ファン」になるには』と題し、報告会を開催
- ・ コロナ禍により、雪祭り時の大学生の受け入れが出来ないなか、縁を繋ぐ意味から主に大学生を対象にしたリモート料理講習会を7/16に実施

むらづくり協議会の取り組みとしては、他にも地区内景観保全の為に草刈り等の環境整備、盗掘・盗伐対策での看板設置、むらづくり便りの発行、各種委員会での課題解決に向けた協議と実践を行っています。

この他にも、地域づくりの活動の中心という事で、地区内の高齢者団体（寿クラブ）や婦人会等の活動に対し、日常的に事務的な面での支援も行っています。